

『とまりぎ』  
とまりぎ

「とまりぎ」とは籠の中で、小鳥がとまる横木のことです  
 また、居酒屋やバーなどのカウンターに置かれる  
 背の高い椅子のことも「とまりぎ」と呼ぶそうです  
 演歌や歌謡曲には、これを題材にした曲が多いですね  
 鳥や人がその翼を休める場所、という定義が高じて  
 「とまりぎ」には、世の憂うれひひにあらわなく  
 心や体の傷を癒なすことがある  
 母胎ぼた回わい帰きというイメージが、定着しています

どんな荒海で、どれほど長い時間、厳しい航海を続けても  
 いつかは母港に戻り、その船体を休めるように  
 人は、帰る場所がなければ、今を生きることは出来ません  
 そして、その身ばかりではなく、心の拠り所、心の寄る辺よこも必要です

天理教では、親神・天理王命てんりおうのみこと様が、我が子人間が  
 互たいにあいたすけあつてあらわするのを見て  
 共あらわにあらわすたいと思召し、この世界人間を  
 お創つくりだされたと教えられます

その親神様が御座ござすと、それが天理教の教会です  
 いわば、人間の母港です、母の胎内と同じ場所です

天理教の教会は、あなたのとまりぎです  
 天理教の教会は、あなたの心の拠り所です  
 母のぬくもりに甘えたいとき、心や体が傷ついたとき  
 どうぞ、お訪ね下さい、温かいお茶を用意して待っています



★「」相談・お問い合わせは…

『とまりぎ』  
とまりぎ

「とまりぎ」とは籠の中で、小鳥がとまる横木のことです  
 また、居酒屋やバーなどのカウンターに置かれる  
 背の高い椅子のことも「とまりぎ」と呼ぶそうです  
 演歌や歌謡曲には、これを題材にした曲が多いですね  
 鳥や人がその翼を休める場所、という定義が高じて  
 「とまりぎ」には、世の憂うれひひにあらわなく  
 心や体の傷を癒なすことがある  
 母胎ぼた回わい帰きというイメージが、定着しています

どんな荒海で、どれほど長い時間、厳しい航海を続けても  
 いつかは母港に戻り、その船体を休めるように  
 人は、帰る場所がなければ、今を生きることは出来ません  
 そして、その身ばかりではなく、心の拠り所、心の寄る辺よこも必要です

天理教では、親神・天理王命てんりおうのみこと様が、我が子人間が  
 互たいにあいたすけあつてあらわするのを見て  
 共あらわにあらわすたいと思召し、この世界人間を  
 お創つくりだされたと教えられます

その親神様が御座ござすと、それが天理教の教会です  
 いわば、人間の母港です、母の胎内と同じ場所です

天理教の教会は、あなたのとまりぎです  
 天理教の教会は、あなたの心の拠り所です  
 母のぬくもりに甘えたいとき、心や体が傷ついたとき  
 どうぞ、お訪ね下さい、温かいお茶を用意して待っています



★「」相談・お問い合わせは…